



2 元気になって帰ってきてね！

5月13日（金）、東串良町の柏原海岸において同町の柏原小学校3年生と本町の大丸小学校2年の児童計30人が合同でヒラメの放流を行いました。

これは、資源確保と子どもたちに漁業に興味を持ってもらいたいと東串良漁協が主催したものです。

東串良漁協に集合した児童らは、放流に先だち県大隅地域振興局の職員からヒラメの生態についてクイズを交えながら学びました。

海岸に移動し、「元気になって帰ってきてね」と声をかけながら、稚魚を波打ち際に放ちました。

今回、放流したヒラメの稚魚（約8cm）は7000匹。約2年ほどで50センチ前後の成魚になるそうです。

1 ウミガメが上陸！

5月21日（土）、横瀬海岸にウミガメが上陸しました。

午前5時にウミガメ保護監視員の下野明文さんが巡回中に発見したものです。

下野さんによると「ウミガメは、警戒心の強い動物で日中に姿を現すのは大変珍しい」とのことです。

ウミガメは、5月中旬から8月中旬にかけて産卵のために上陸します。産卵後、午前3時ごろには海に引き揚げるのが普通だそうで、明るい時間帯は天敵に襲われる可能性があるため、ほとんど姿を見せないのだそうです。

昨年は、101頭が産卵に上陸いたしました。

（保護のため離れた場所から撮影し、画像の一部だけを大きくしています。）